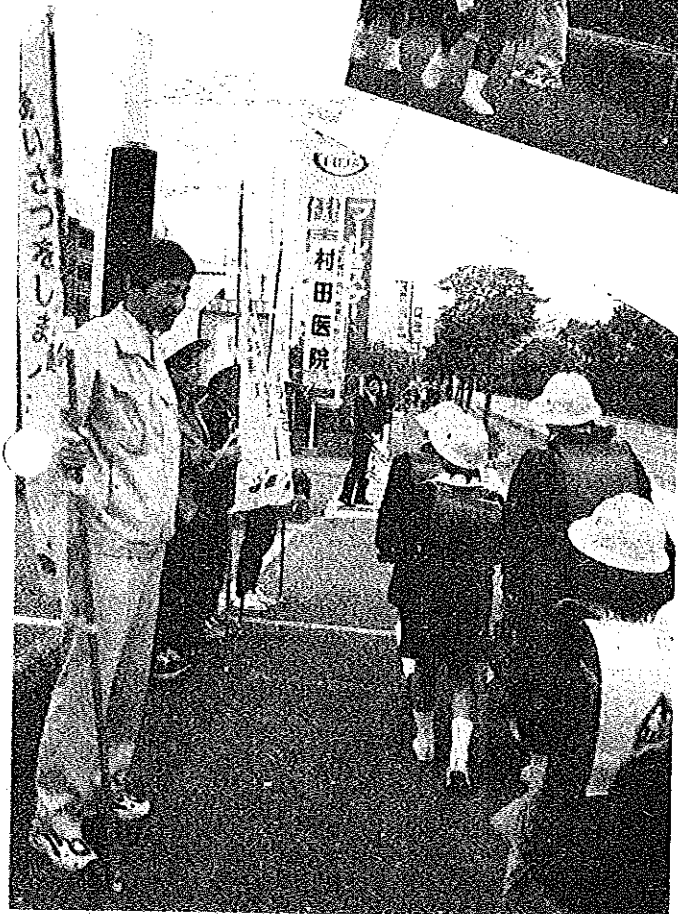


ふれあい

記事と情報は下記へ
周陽公民館
☎28-6515

12月の資源回収日は19日(第3日曜日)です。



周陽地区は今年、「あいさつ運動」の重点地区になっています。
毎月、1日と15日は「あいさつおじさん・あいさつおばさん」の爽やかな声が子どもたちに掛けられています。
さあ、今日も一日元気で！

おはよう

★12月の「土曜おもしろ文庫」は、11日(土)です。

つ ぶ や き

九十冊の絵本が我が家にやって来た。もともと絵本が大好きな私の家には、現在四歳のひとり娘が生まれる前から、すでに二百冊の絵本が並んでいた。この三年間に何度も繰り返し読んでやりすっかり絵本好きになった娘も、新しい絵本の山におおよろこびで目を輝かせている。

「これはママの本だから、大事にいつしょに読もうね。あなたがおとなになったらあげるから、そうしたら今度は自分の子供に読んでやってね。」
早期教育、情操教育、いろいろといわれる世の中だが、私は自分が楽しいと思えることを娘と一緒に楽しみたいし、自分ができることなら娘と一緒に勉強したいと思う。ピアノも英語も、子供だけ頑張るより楽しいに決まっている。
さあ、今日はどの絵本を読もうかな。

中田 圭子 三十代

晩秋の山道は流石に日暮が早い。さらさらと落葉する風景に暫し足を止め、朱赤の連なる烏瓜の美しさ、野いばらの硬い小さい赤さんこの群れといい、はじけた梅もどきのからまる蔓、悪臭のクサギも赤い萼の中から紫紺の実を光らせて自然の移ろいの素晴らしさに、暗れた日は山道を歩きたくてムズムズする。百舌鳥の鳴き声も寂しげだけど晩秋の山道を「層際立させる。寒さに向かって山道は時雨れたり吹雪いたり急変する日もあるけどキョーンと冷える空気は張りつめて凜としている。陽溜りにはタンポポの花も一月頃にはほころびて枯山の辺りを明るくする。木立には青々とした苔が元気をくれる。冬至を境に私の心は一変する。年末に向っての慌ただしさも山積された整理も大変だけど陽は明るく長くなって早春の山へと心身共に希望を与えてくれる様で新年を前に春を感じる冬至を心待ちしている。

まだ若い六十五才

公民館 俳句教室

十一月十日

神無月・渡り鳥

赤松 蕙子 選

刻ならぬ鐘の余韻に返り花 茂子

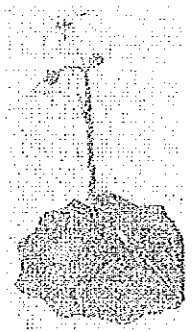
童顔の兵の遺影や石露の花 雅枝

灯に浮ぶアユタヤ遺跡秋惜しむ 滝子

若人の散りにし跡や返り花 千鶴子

楓楯の実雨に洗はれ匂ひ立つ アサ子

渡り鳥空を仰ぎて待ちわびる 典子



あとがき
1999年も終わりを告げようとしている。最近よく聞く『ミレニアム』って言う新年越しなんですよね…

